

令和7年5月19日

居住者の皆さま

防災訓練へのご協力ありがとうございます

南ハイツ 自治会長 佐藤 茂

管理組合理事長 三田千鶴子

5月18日、和泉中央南ハイツでは、恒例の、自治会と管理組合合同の防災訓練行われました。前もって配布しておいた「安否確認カード」片面が無事です。裏面が救助求むになっています。午前9時には全世帯でこのカードを北側の窓の手すりに掲示していただく。全員「無事」だと意味がないので、役員は「救助求む」を掲示し



ていただきました。今回は、集会所前の1号棟は、空き家以外はすべてのお宅で掲示していただきました。各棟の様子を役員が写真にしているので後日確認いたしますが、なんと素晴らしいことか。集会所では総務課危機管理係より職員が2名。50インチの大型テレビに資料を映しだし、緊急時の対応や緊急時のトイレ対策や、どのくらい在庫を置かなければならないかなど、詳細に講演をしていただきました。

その後は、消防署職員が2名。AEDを3台・消火器を4台持参してきていただき、中と外に分かれて実演講習が行われました。参加者50名は給食訓練用のデトルトカレーと、パックご飯・お茶をいただき、集会所で食べる人、持って帰る人など、有意義な訓練を行う事ができました。



泉区連合
自治会町内会長会の紹介

各地区連合自治会・町内会
エリア MAP

書式のダウンロード

区役所からのお知らせ

トップページへ

● 1228・防災訓練が行われました。

5月18日、和泉中央南ハイツでは、恒例の、自治会と管理組合合同の防災訓練行われました。前もって配布しておいた「安否確認カード」片面が無事です。裏面が救助求むになっています。午前9時には全世帯でこのカードを北側の窓の手すりに掲示していただく。全員「無事」と意味がないので、役員は「救助求む」を掲示していただきました。今回は、集会所前の1号棟は、空き家以外はすべてのお宅で掲示していただきました。各戸の様子を役員が写真にしているんぼで後日確認いたしますが、なんと素晴らしいことか。集会所では総務課危機管理係より職員が2名。50インチの大型テレビに資料を映しだし、緊急時の対応や緊急時のトイレ対策や、どのくらい在庫を置かなければならないかなど、詳細に講演をしていただきました。

その後は、消防署職員が2名。AEDを3台・消火器を4台持参してきていただき、中と外に分かれて実演講習が行われました。参加者50名は給食訓練用のデトルトカレーと、パックご飯・お茶をいただき、集会所で食べる人、持って帰る人など、有意義な訓練を行うことができました。感謝。

[5-18kunren.pdf](#)

文字のサイズ

小 中 大



緊急時の在り方の座学



初期消火訓練



AED訓練



炊き出し訓練

[町内会自治会のトップページに戻ります]

泉区連合
自治会町内会長会の紹介

各地区連合自治会・町内会
エリア MAP

書式のダウンロード

区役所からのお知らせ

トップページへ

文字のサイズ

小 中 大

● 1159・横浜市建築局住宅政策課を迎えて

6月6日

いよいよ今日は、横浜市建築局住宅政策課の職員を交えての会議が行われる日となりました。「現在、ご提出いただいた書類を課内で審査している状況ですが、手続きを進めるにあたり一度現地を訪問させていただきたいと思います。」との内容です。受け入れも、管理組合からは、新旧理事長はじめ、昨年の副理事長、今年度の総務など、木幡顧問も含め6名での対応となります。

本局より7名の方が来ていただきました。木幡顧問が時間に来れないとの連絡で、急遽私が進行役に。準備しておいたトイレ関係の器材やその用途の仕方など、写真を見ながらの説明。マンホールトイレ以前のやり方について。納得していただきました。また、今の電話機は、停電になると使えないが、電話ケーブルにつなげるだけで使える電話機を紹介するなど、他ではないような中身まで紹介。

本題では、マニュアルと防災訓練で使用した、総務課危機管理係で用意していただいた資料を参加者全員に配布していたので、これについて説明。その後はマニュアルなどとの整合性で、マンション内を見たいとのことで、外回りへ、まず防災備蓄庫の令和24年の設計図に従って作られたことの経過と備蓄庫内の写真。更に別の防災倉庫。これは近隣との共同で使う。お互いに申請書サインを取り交わし使うことに。リヤカーも用意し驚かれていました。階段のところに備え付ける緊急用の器材を置いた様子の写真。また耐震関係についても顧問と綿密に話し合いをされておりました。

泉区役所で「一時避難場所」として扱っている500坪のまちの原っぱも見学。綺麗に手入れをされていて、一般市民の憩いの場になっていることも見ていただいた。マンションの避難場所と申請したが、マンションに土地ではないことから否定されていたが、今回は納得されているらしかった。ただ、広域避難場所としては間違いなく見ていただいたと思う。

最後にもう一度集会所に戻り、いくつか質疑応答を行った。ソーラー式充電器を紹介。スマホの充電できれば投光器はいらないのでは。このことを危機管理係に訴えたところ、各拠点にスマホ充電用の機材を備え付け。手元は投光器よりもスマホが便利。納得。今後の流れとして、7月に検討委員会を行い、9月に承認式を行うことまで、お話をされていた。



全体の会議を終えて



備蓄庫・倉庫の見学



ハイツ内の査察



耐震関係について

[町内会自治会のトップページに戻ります]